

# 読者ひろば

Readers' square

## 忘れてならぬ 沖縄慰霊の日

高谷和生 65

市民団体代表

(玉名市)

間もなく戦後75年目の6月23日「沖縄慰霊の日」を迎える。長崎・広島への原爆投下の日、終戦の8月15日と共に私たちが忘れてはいけない一日である。

昨年末、沖縄県名護市の屋我地島にあるハンセン病患者の回復者施設「沖縄愛楽園」を家族で訪れた。目的は沖縄戦に

際し、入所者自らが不自由な手にツルハシを布で縛りつけて掘った戦争遺跡「早田壕」を見学することであった。

早田壕は昭和19年3月、当時の早田園長の指示で園内丘陵の各所に掘られた横穴式防空壕である。目指すその壕は、今も入所者が生活する第一センター廊下の奥にたえずんでいた。全国の軍や自治体施工壕(特殊地下壕)の調査・保存等に關わってきた立場からは、入所者の悲痛な証言がたくさん詰まった壕ではあ

るが、思いのほか小さく、簡易な造りで驚いた。

沖縄10・10空襲では園建物の9割が破壊されたが、壕は、続く米軍「鉄の暴風」にも耐え、幸運

にも被害者は1人とどまった。一方ではその後1年で、当時入所者の3割にあたる289人が亡くなったのは、長期にわたる壕生活での病状悪化や栄養失調・赤痢がその主な原因だったという。早田壕は沖縄戦で入所者の命を守り、そして平和が訪れたのちに命を奪った。

このような悲惨な戦争を私たちは二度と起こしてはならない。今年が「戦後75年」節目の年。新型コロナウイルス災禍の中ではある

が、熊本でも新たな歴史資料を公開しながら戦争の実相を伝え、平和を持続させる取り組みを仲間と進めていきたい。

「読者ひろば」への投稿は400〜600字。「主張・提言」に採用することもあります。◇欄外に郵便番号、住所、ファート・マンション(名も)氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すこともあります◇原稿は返却しません。二重投稿、採否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用です。掲載分には薄謝を送ります。

### 投稿される方へ

◇投稿を熊本弁でつづる「熊本弁まっだし」の作品も募集しています。日常生活の喜怒哀楽などを、すべて熊本弁で書きつづってもらおうコーナーです。長さなどの規定は、一般の投稿に準じます。

あて先は①郵送〒860-8500、熊本市中央区世安町1-72、熊日「読者ひろば」係②ファクス 0996(3666) 126980③メール hiroba@kumani.chic.co.jp